



はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



第2回ワークショップの活動内容（8月20日開催）

- ・自然ふれあい地域の候補地の絞り込み
- ・身近な自然環境をみる上での、指標の検討

自然ふれあい地域の候補地の絞り込み

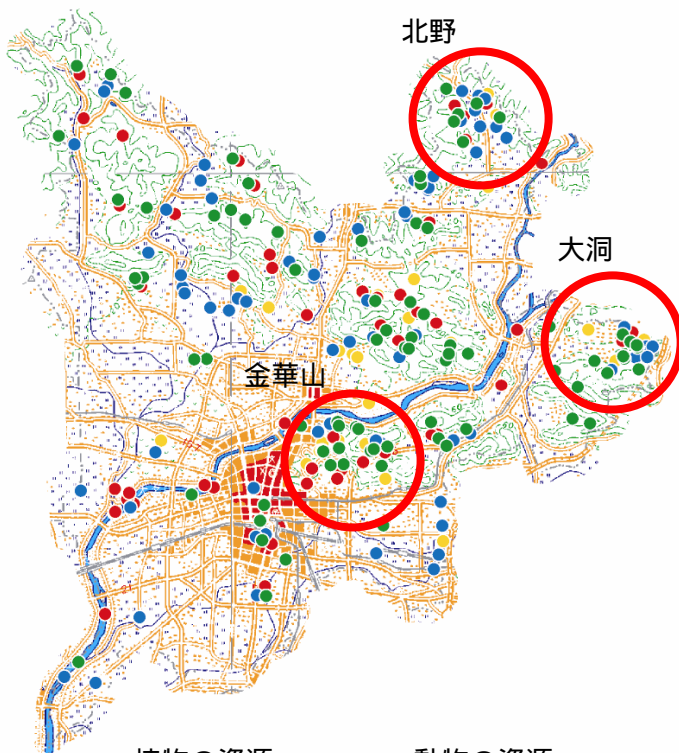
第2回ワークショップでは、第1回ワークショップで出された意見をたたき台に自然ふれあい地域の候補地の絞り込みを行いました。

参加者からは、「稀少種が生息する環境が全体としてもポテンシャルが高い自然環境が残されている。」「小規模開発の繰り返しにより、自然環境が年々悪化している。」など様々な意見を頂きました。

そのような中、現在残されている自然環境の状況や、自然環境の保全の担い手の確保の点で、1.金華山周辺 2.大洞周辺 3.北野周辺の3箇所については、自然ふれあい地域として活動することができる可能性が非常に高い地域であるという意見が出されました。

1.金華山では、現在ある活動と共に、一般市民にその環境の価値を理解してもらうためにも散策路の回遊性を持たせるのもよいのではないかと提案がありました。

2.大洞では、保全すべき地域が分散し、一つ一つが小さいことからいち早く



- | | |
|----------|----------|
| ：植物の資源 | ：動物の資源 |
| ：水に関する資源 | ：保全活動の場所 |

保全する必要があるという意見が出されました。

3.北野では、少年自然の家の近くに岐阜市が保有する非常に自然豊かな環境が残されており、その場所が拠点活動となる可能性があると共に、地元住民にも保全活動に関する理解が得られていることが非常によいという報告がされました。

その他の地域についても、「外来種の侵入を監視する必要がある」「現在の農業を支えることが重要」といった多くの意見が出されました。

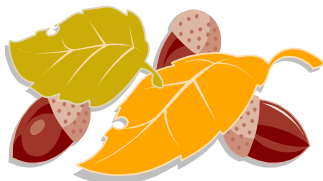


岐阜市の自然環境をみる指標

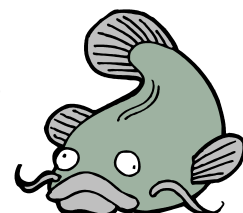
岐阜市の自然環境をみると非常に多くの資源が点在して分布していることが分かりました。そこで、その点在している自然環境を地域住民が見守るための指標について、どのようなものがよいのか話し合いました。



岐阜市の自然環境を大きく分けて 1.都市河川 2.田園地域 3.山林地域の3つに分類してそれぞれにおける指標を考えました。



どの場所でも共通していえるのが、外来種の侵入がよくないということでした。それを受けて出された指標としては「セイタカアワダチソウ」「ミドリガメ」「ブ



ラックバス」をはじめとした多くの外来種が出されました。また、指標として考える場合は、**外来種と生息箇所が競合する在来種も見つめるのがよいという提案**も出されました。

また、場所の状況から見つめる指標としては、「耕作放棄地が多いか少ないか?」「水路が3面張りになっているかどうか?」「雑木林が藪になっていないか?」など、**地域の開発に関する視点や、地域住民と自然環境との関わりに関する視点が例示**されました。このような意見を踏まえて、岐阜市全体を地域住民が見つめることができる指標を考えていきたいと思います。



おわりに

今回のワークショップで、自然ふれあい地域の候補を絞り込むと共に指標についても話し合うことができました。

次回のワークショップでは、自然ふれあい地域候補を現地視察すると共に、現地においてどのような指標が自然を見つめる上で重要であるのか、また、どのような活動が必要なのか考えていきたいと思えます。皆様の御参加をお待ちしております!!

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html